

公益財団法人渥美国際交流財団
2022 年度事業計画
(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

■ 留学生及び日本人学生の奨学事業【公 1】(公益目的事業 1)

➤ 奨学金支給 (49,900 千円)

(1) 渥美奨学金の支給 (46,000 千円)

第 28 期奨学生 16 名に月額 25 万円の奨学金を支給する。

※第 28 期生のうち 2 名に 2022 年 9 月～2023 年 3 月分を支給する。

※第 28 期生のうち 1 名に 2022 年 10 月～2023 年 3 月分を支給する。

※第 27 期生のうち 2 名に 2022 年 4 月～8 月分 (月額 20 万円) を支給する。

毎月個々又はグループで、奨学生を事務局等に招き、学業の進行状況や生活環境等について話し合った上、銀行小切手で支給する。ただし、状況により銀行振込で支給する。

(2) 博士号取得者の海外学会参加者奨学金 (900 千円)

渥美奨学生で博士号を取得した者に、海外で開催される学会等に参加するための旅費・宿泊費等を支給する。但し、海外に居住する者は、日本への旅費等に充当することができる。(30 万円を上限とする)

(3) 元奨学生を対象とした継続支援奨学金 (3,000 千円)

奨学金支給期間に博士号を取得できず、現在も常勤職につかずに研究を続けている者(約 10 名)に年 3 回、各 10 万円を支給する。

➤ 募集選考 (1,000 千円)

(4) 2023 年度第 29 期奨学生 (16 名) の募集・選考 (1,000 千円)

7 月 1 日 募集要項配付開始 (各大学院に送付・ウェブに掲載)

9 月 1 日 応募受付開始

9 月 30 日 応募締め切り

10 月中旬 予備書類選考

11 月上旬 予備面接

12 月 3 日 最終選考会

※海外の大学院で博士号を取得するために 1 年間来日して調査研究する人を採用した場合には、往復旅費を追加支援する。

➤ 生活支援 (2,050 千円)

(5) 月例会 (1,850 千円)

① 毎月の交流会 (*財団理事・評議員・選考委員との交流会) (850 千円)

※コロナ禍で計画の実施が困難な場合は、渥美財団ホールとオンラインを組み合わせた代替プログラムにより毎月の交流会を実施する。

- 4月 月例会
- 5月 個別面談
- 6月 評議員会後の講演会 (オンライン参加)
- 7月 蓼科ワークショップ (②参照)
- 8月 (7月末に実施) 真夏のバーベキュー
- 9月 個人面談
- 10月 (9月末に実施) 研究報告会*
- 11月 月例会
- 12月 忘年会
- 1月 新年会
- 2月 個別面談
- 3月 研究報告会*
- 3月 2022年度奨学生最後の食事会

② 蓼科ワークショップを開催 (1,000 千円)

日時: 2022年7月1日(金) ~3日(日)

会場: 蓼科高原チェルトの森 大興蓼科山荘

※コロナ禍で宿泊事業の実施が困難な場合は、渥美財団ホールとオンラインを組み合わせたハイブリッド形式でワークショップを実施する。

(6) フォローアップ事業 (200 千円)

- ① 蓼科ワークショップ(7月)、真夏のバーベキュー(8月)、忘年会(12月)、新年会(1月)、研究報告会(9月、3月)に元奨学生を招待。
- ② その他適時世界各地またはオンラインでラクーン会(同窓会)を開催

■留学生及び日本人学生を通じた国際交流事業 (SGRA の活動) 【公2】 (公益目的事業2)

➤ 学術交流プロジェクトの開催

(7) 第6回アジア未来会の実施 (ハイブリッド) (14,040 千円)

① 第6回アジア未来会議のハイブリッド開催 (10,040 千円)

新型コロナウイルス感染症の流行のため1年延期した第6回アジア未来会議を会場参加とオンラインのハイブリッド式で開催する。

日時：2022年8月27日（土）～29日（月）

会場：中国文化大学（台北市）とオンライン（Zoom）

	会場参加+オンライン	オンライン
日時	2022年8月27日（土）	2022年8月28日（日）、29日（月）
会場	中国文化大学（台北市）とZoom	Zoom
内容	午前：分科会（論文の口頭発表） 午後：基調講演、シンポジウム、	午前：円卓会議 午後：分科会（論文の口頭発表）
その他	懇親会と優秀論文賞授賞式	

② 優秀論文集『アジアの未来へー私の提案 Vol. 6B』の発行(4,000千円)

編者：関口グローバル研究会

発行予定：2023年3月

発行所：(株) ジャパンタイムズ出版（予定）

(8) SGRA フォーラム・カフェ・スタディツアー等を主催・共催（5,400千円）

① 第20回日韓アジア未来フォーラム（500千円）

テーマ：「BTS、『愛の不時着』にみる韓国文化力（仮）」

日時：2022年5月中旬

会場：渥美財団ホール&オンライン

言語：日本語・韓国語（同時通訳）

参加者（見込み）：50名

担当：金雄熙（仁荷大学）

② 第17回 SGRA カフェを主催（300千円）

テーマ：「未定」（企画を公募中）

日時：2022年7月 日（予定）

会場：渥美財団ホール&オンライン

言語：日本語

参加者（見込み）：100名

担当：未定

③ 第69回 SGRA フォーラム/第7回国史対話の可能性（1,500千円）

テーマ：「歴史の大衆化と東アジアの歴史学」

日時：2022年8月6日（土）午後

会場：オンライン

言語：日本語・中国語・韓国語（同時通訳）

参加者（見込み）：100名

担当：李恩民（桜美林大学）

外部資金：実行委員会が鹿島学術振興財団に助成申請中

④ 第15回ウランバートル国際シンポジウムを共催（300千円）

テーマ：「日本とモンゴル—ユーラシアからの眼差し」

日時：2021年9月3（土）、4日（日）

会場：モンゴル国立大学2号館4階多目的室

協力機関：昭和女子大学国際文化研究所、モンゴル国立大学社会科学部、他

言語：日本語・英語、モンゴル語

参加者（見込み）：日本、モンゴル、ロシア、中国、韓国、ドイツからの研究者100名

担当：ボルジギン・フスレ（昭和女子大学）

⑤ 第18回SGRAカフェを主催（300千円）

テーマ：「未定」（企画を公募中）

日時：2022年10月中旬

会場：渥美財団ホール&オンライン

言語：日本語

参加者（見込み）：100名

担当：未定

⑥ 第9回SGRAふくしまスタディツアー（500千円）

テーマ：「未定」

日時：2022年10月上旬

協力：認定NPO法人ふくしま再生の会

参加者（見込み）：15名

⑦ 第16回SGRAチャイナ・フォーラムを主催（1,000千円）

テーマ：山室信一先生講演

日時：2022年11月（予定）

会場：北京大学 または オンライン

協力機関：清華東亜文化講座、国際交流基金北京日本文化センター

言語：日本語・中国語（同時通訳）

参加者（見込み）：300名

担当：林少陽（東京大学）、孫建軍（北京大学）

⑧ 第70回SGRAフォーラムを主催（500千円）

テーマ：「未定」（企画を公募中）

日時：2022年3月

会場：ハイブリッド

言語：未定

参加者（見込み）：100名

担当：未定

⑨ 持続可能な共有型成長セミナーを SGRA フィリピンと共催（500 千円）

2022 年 5 月	33 回	UPLB 校内/Zoom	持続可能な共有型成長の Policy Brief
2022 年 7 月	34 回	UPLB 校内/Zoom	地域通貨の可能性
2022 年 9 月	35 回	UPLB 校内/Zoom	地方分権と国内歳入割り当て
2022 年 11 月	36 回	UPLB 校内/Zoom	地税による持続可能な共有型成長の可能性
2023 年 2 月	37 回	UPLB 校内/Zoom	持続可能な共有型成長と組織構造

⑩ その他

- ・ SGRA フォーラム・カフェ・セッションの企画案を元渥美奨学生を対象に公募

➤ 研究交流プロジェクトの成果等の発信

(9) SGRA レポートの発行（2,000 千円）

フォーラムの講演録の冊子をレポートとして発行し、会員他に送付する。発行部数は各号 800～1000 部。また、PDF 版をホームページに掲載する。

2022 年度に 4 冊発行予定（第 97 号は 2021 年度の発行済）。

- ・ 第 96 号「国史対話：人の移動と境界・権力・民族」
- ・ 第 97 号「誰一人取り残さない」（2022 年 2 月発行済）
- ・ 第 98 号（日韓アジア未来フォーラム講演録）
- ・ 第 99 号「国史対話：」
- ・ 第 100 号 未定

[レポート送付先]

- ・ 賛助会員と特別会員（顧問、講師、元渥美奨学生 他） 約 600 名
- ・ 国立国会図書館に納本（ISSN 1346-0382）
- ・ 鹿島建設資料室に納本
- ・ 国内大学留学生センター、図書館、メディア、政党等に納本 約 70 機関
- ・ 海外の日本研究センター、図書館等に納本 約 60 機関

(10) 多言語化プロジェクト（2,000 千円）

日本語で発行した SGRA レポートやかわらばんのエッセイを、英語、中国語、韓国語などに翻訳して発信する。学術ジャーナルへの掲載、単行本の出版、ホームページへ掲載など。

(11) メールマガジンの配信 (1,250 千円)

① SGRA かわらばんの配信 (500 千円)

世界各地の会員のエッセイと SGRA フォーラム等の案内を、毎週木曜日に電子メールで配信。配信先は 2873 名。

② 国史メルマガの配信 (750 千円)

国史たちの対話関係者のエッセイを日中韓 3 言語で、毎月 1 回電子メールで配信。配信先は過去 4 回の国史対話円卓会議出席者 332 名。

③ SGRA China Forum Email Letter

SGRA チャイナ・フォーラム出席者に、案内、報告、レポート等を中国語で不定期に配信。配信先は 526 名。

■上記公益目的事業の基盤整備 (1,800 千円)

(12) ホームページの管理運営 (500 千円)

渥美財団：<http://www.aisf.or.jp>

関口グローバル研究会：<http://www.aisf.or.jp/sgra/>

SGRA in English | SGRA in Chinese | SGRA in Korean

アジア未来会議：<http://www.aisf.or.jp/AFC/>

(13) 寄附金・助成金

- ① 書面による SGRA 活動賛助寄附依頼 (5 月～9 月)
- ② 賛助企業・寄附者を訪問依頼 (12 月～1 月)
- ③ 国際交流事業の各プロジェクトのために助成金申請と賛助寄附金を募金

(14) 2021 年度年報 (1300 部) (1,000 千円)

(15) 公益財団法人、在日留学生支援団体との情報交換と交流 (300 千円)

- ・ 留学生奨学団体連絡協議会 (JISSA)
- ・ 留学生教育学会 (JAISE)
- ・ (公財) 助成財団センター (JFC)
- ・ (公財) 公益法人協会

■その他

(16) 理事会と評議員会 (予定)

第 40 回理事会 2022 年 5 月 14 日 (土) (渥美財団ホール)

第 16 回評議員会	2022 年 6 月 2 日（木）（鹿島建設 K I ビル）
第 41 回理事会	2022 年 12 月 17 日（土）（渥美財団ホール：忘年会の前に）
第 42 回理事会	2023 年 3 月 4 日（土）（渥美財団ホール：研究報告会の前に）